

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 福順分教会

昭和10年12月3日 設立  
昭和36年4月10日 落成奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步!

- \*一教会、初席者一名以上
- \*おさづけを身近に
- \*百万件のにをいかけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教183年  
7・8  
月号

# 修養科生の声



## 修養科で学んだこと

芦田川分教会 吉岡 真生

修養科の参加は内面的に成長するために希望しました。元々面倒くさがりですぐにイライラしてしまう性格であるため他人に迷惑をかけてしまうことがありました。このままではダメだと思い、参加することを決意しました。

この3ヶ月間多くの方々と接しましたがやはり他人の行動や言動が気になりました。イライラすることが時々ありました。そこで「イライラしたらとりあえず納得すること」を実践してみることができました。具体的に言うと、一旦落ち着き状況を整理した上で状況を飲み込む、面倒くさいなと思ったりすることがなくなりました。

## 修養科を終えて

米府分教会 福谷 克巳

まずはコロナ過の中、948期修養科を

無事修了させて頂き、教会御本部、詰所の先生方にお礼申し上げます。

修養科では、十二下りのお手振りをきつちりと覚えることを目標としていました。

お手振りは自己流でしたが、修養科、詰所で教えて頂く中で間違つて振つていた箇所を認識させて頂き、きちんと踊れるようになったと思います。

鳴物は、笛を選択しましたものの、息が続かず上手く吹けるまでにならず、帰ってから練習に励むつもりです。

またひのきしんは除草、修養科ではクラスでの感話をきっかけに回廊拭きに取り組み、GW期間中は参拝出来なかつたため、修養科周辺の除草を実施したのを契機として、GW後も回廊拭きに加え、昼休みの除草も修養科修了まで継続させて頂きました。途中からクラスメイトも一緒に除草してくれるようになり、教典の一節「ひのきしんは……心あるものは、次々と相携えて……」を実感しました。

修養科期間中、月次祭、教祖誕生祭は参拝が出来ない状態で繁忙時のひのきしんを経験出来ませんでした。3ヶ月もおちばに滞在することは、最初

で最後の思いから、精一杯ひのきしんに取り組ませて頂きました。

一番の収穫は、以前、会社の同僚におさづけの取り次ぎを断られたことから身内以外の人へのおさづけの取り次ぎを躊躇していましたが、修養科でおさづけを取り次ぎさせて頂くようになり、おさづけに一步踏み込めるようになったのではと思います。

地元に戻っても、ひのきしんに励み、おさづけの機会があれば積極的に取り次いでいく所存です。

## 感謝の心で

木津和分教会 丸山 周太

修養科を通して僕が一番印象に残っていることは、恵さんのお子さんとおごす時間でした。最初は慣れてない様子でしたが一週間もすれば僕に慣れてくれました。一緒に遊んで、また寝かして、楽しかったです。しかし楽しい時間だけではなく泣く時があれば僕が泣き止まずことはあまりできませんでした。赤ちゃんの気持ちを分けることが難しく、そうなると思える所に帰っていききました。母親の元へ帰るとすぐ泣き止む姿を見てやはり親は偉

大な存在だと改めて気付かされました。子どもの気持ちを分かってあげられるのはやはり親であって全てを受け止めてあげられる存在だと気付きました。我が親の有り難さが大きくなりました。一ヶ月、二ヶ月と経って何が欲しいとか何がしたいとか分かってきて、その分かってあげられた時の赤ちゃんの笑顔を見ると僕まで、笑顔になりました。親の偉大さを改めて気付く事が出来て、もっと親孝行したいと思えるようになりました。

この新型感染症が流行した時期に、おちばに引き寄せられ、また四人の修養科生との出会いは僕にとつて、とても大きな財産となりました。社会人になる上での相談に乗って下さったり、一緒に草刈りをして下さったり、雅楽の練習に付き合ってくれたり、一緒に参拝に行つて下さったり、本当に成長出来る時間でした。有り難うございました。そして教養の先生方には本当に地道のひとつひとつを丁寧に教えて下さり有り難うございました。

これから先、今まで以上にお道に繋がりが、両親、上級会長様、そして周りの方々に喜んで頂ける通り方をしていきたいです。感謝です。

まだまだ納得するまでに時間はかかるので今後もっとスムーズに納得できるようにしていきたいと思います。

また修養科生活自体はひのきしん尽くして忙しかったですが、教養の先生方や担任の先生方、他の修養科生の方々の助けもあり、辛いと思うことはなく充実した毎日でした。

初めの頃は乗り気でなかった神殿参拝や回廊ひのきしんも終わる頃には日課となっており今日はどこを掃除させてもらおうかな、と思うようにまできました。

当初の目的であった内面的な成長もできた有意義な修養科であったと思います。今後もこの3ヶ月で学んだことを生かしていきたいと思えます。

### 三ヶ月おがばで過ごして

皆部分教会 岡 惠

あつという間の三ヶ月でしたが、子供を連れての宇修養科は想像していた以上に大変でした。周りの方たちに助けていただいていた本当に救われた三ヶ月でした。自分の思った通りに進まず、子供が熱を出したりで、授業に行けなかったり、ひのきしんに遅れてしまっ

たりで最初はなにをしに来たんだろうと思ったりもしました。実家の母に預けてきた方が良かったのかなと思う事も何度かありましたが、子供が一緒でなければこの三ヶ月は私にとってもつと辛い修養科生活になっていったと思います。子供が熱を出したとき、落ち込む私に同じクラスの人が「お母さんに休みをくれたんだよ、いい子だね」と言ってくれて、本当に救われたのを覚えています。

また話所でもクラスでもみんなが娘を可愛がってくれて本当にありがたく、三ヶ月が終わった今は、連れて来て本当に良かったと思っています。

自分自身、修養科に来て変わったと思う事は、少しずつ気持ちが前向きに明るくなれた事です。また私は修養科で毎日よろこび探しをさせて頂いていました。毎日よろこびを探し生活をしていると、有難いと気づく事がたくさんあり、神様がお与えくださったことあたり前ではないのだということや学ばせていただきました。またいろんな先生方からのお話が参考になり、勉強になりました。

私は修養科中におさづけ拝戴させて頂きました。これからの私に何が出来るか考えた時、たくさんの人の助けを願う一人でも多くの方におさづけの取り次ぎをさせて頂きたいと思えました。最後になりましたが、三ヶ月一緒に頑張ってくれた娘、同期、先生方への感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張りたいです。三ヶ月本当にありがとうございました。

### 修養科を通じて

稲倉分教会 北川 侑子

私は今回結婚を機に修養科を志願しました。以前より身上や事情を見せていただくタイムミングで、親から、「修養科へ言ってみないか？」と誘われていました。ですが結婚という大きい節目で自分自身を見つめ直したいと思い、決断しました。不安な気持ちのまま始まった修養科でしたが、少しずつ生活にも慣れていき不思議なくらい日々あつという間に過ぎていったように感じます。コロナウイルスの拡大に伴って、修養科もいつ終了するか分からない状況で、学校に通えること、教友に会えること、その当たり前がとも尊く有り難いと感じながら、日々噛みしめていました。今回、九四八期の

誰一人としてウイルスに感染することもなく、無事修了できたのも神様の守護だと思えます。5月、6月、修養科の受け入れもなくなってしまうましたが、私たちは本当に有り難いタイムミングで引き寄せて頂きました。この修養科は、私にとって笠岡での締めくくりでもありました。いろいろな面で自分自身を見つめ直す機会が出来て、修養科の仲間たち、教養の先生方、話所のお世話になった方々に本当に感謝しています。これからも、当たり前のように動かせる身体、自由に使える心、周りの方々の存在に感謝して通りたいたいと思えます。

### 訃報

石井 守氏

神免分教会長

7月10日出直されました。

享年 77才

橘高祐高氏

國須分教会長

7月21日出直されました。

享年 93才

# 六月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎しんで申し上げます

親神様には一列子供陽気ぐらしが見たいゆえから身体をお貸し下さるだけでなく自由のご守護も下さっており  
ますことは誠に有り難く勿体ない極みでございます 特に今は梅雨に入り連日雨が降り続いており 動物は思うように  
動けず少し物足りなさを感じておりますが 植物は嬉しそうに生き生きと輝き 田植えのすんだ田んぼでは稲が弾むよ  
うにすくすくと育っております そんな中新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言が解除され 移動も自由に出来  
るようになり ようやく元の生活に戻りつつありますが 感染そのものは無くなつたわけではなく むしろ今まで以上に  
気を遣って生活させて頂いております 私共はそうした不自由の中にも「かしまのかりもの」の御教えを心に 日々は  
明るく過ごさせて頂きつつ 朝夕にお礼申し上げ ご恩報じを念じて今出来る精一杯のたすけ一条の歩みを進めさせて  
頂いております

その中にも今日の吉日は これの大教会の六月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人  
一同 喜び感謝の心も一入に 又ウイルス感染の一日も早い終息を願って 明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりを勤  
めさせて頂きます 残念ながら本日も部内教会長及び一般の方々には参拝をご遠慮頂いておりますが それぞれの教会  
や自宅にて気持ちを一つにおつとめを勤めて下さっております 皆の真実の状をご覧下さいます 親神様にもお  
勇み下さり一日も早いウイルス感染の終息をご守護下さいますようお願い申し上げます

さて世界中が新型コロナウイルスに心奪われ何とかしなければと夢中になっている最中にあつても 事件事故は減るどころ  
か増えているように思います ましてや国毎の覇権争いが顕著になってきているようにも思います この現状を見て  
親神様には大変心を痛めておられるのではないかと大変申し訳なく思います と同時に「このさきハセかいどううハ  
一れつによろづたがいなたすけするなら」「月日にもその心をばうけとりて どんなたすけもするとおも多よ」のお言  
葉が心に浮かび いか「たすけの輪を広げる」事が大切で急務であるかと思知らされました 私共の成人の歩みは  
微々たるものかもしれませんが「たすけ一条のご用の上に励ませて頂く所存でございます

何卒親神様には皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上により一層のご守護を賜り 親心に触れ一  
列兄弟の理に目覚めて たすけ一条に邁進する人が増殖して お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しま  
すようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

# 大教会だより

## ◎第九四八期修養科

自 立教183年4月1日  
至 立教183年6月27日

### \*教 養 掛

養 掛 (主任、副主任)  
一ヶ月目 田 林 久 嗣

(大教会役員・東悠分教会長)

### \*教 養 掛

二ヶ月目 谷 内 伸 自  
(大教会役員・輝美濃分教会前会長)

三ヶ月目 杉 原 善 朗  
(大江橋分教会長)

副 村 川 久 美 子  
(八尋分教会長)

副 矢 田 哲 一  
(八尋分教会長)

副 了 者

芦 田 川 吉 岡 真 生

米 府 福 谷 克 己

木 津 和 丸 山 周 太

皆 部 岡 川 侑 子

稻 倉 北 川 侑 子

## 七月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に 会長上原理一慎しんで申し上げます

親神様の親心溢れるご守護を頂いて日々は結構に恙なく生活させて頂いております 誠に有難うございます 特に今は徐々に暑さが増して来て 梅雨明け間近を感じさせる季節となりましたが 今年の梅雨も雨が激しく 各地で被害が続出し多くの方が亡くなりました事は誠に残念でなりません 加えてコロナの影響で災害救援もままならず 復旧も思うように進んでいない現状でございます 「人間が陽気ぐらしをするのを見て共に楽しみたい」との親心に背くような姿に大変申し訳なく思っております 親にお引き寄せ頂いた私共は 少しでも親の思いに応えたいと朝夕にお礼を申し上げると共に 災害地の教友の声を聞き 多くの方の協力を頂いて必要な救援物資を送ったり 義援金に協力する等して今出来るおたすけ活動をさせて頂いております

その中今日の吉日は 此の教会の御祭り日でございますので 集いましたおつとめ奉仕人一同 明るく陽気に勇んで坐りづとめ手をどりをつとめて 七月の月次祭を執り行わせて頂きます ウイルス感染拡大防止の為 残念ながら奉仕人以外参拝を遠慮頂いておりますが 各自教会や自宅にておつとめを勤め 日頃のご高恩に改めてお礼申し上げますと共に ウイルス感染が一日も早く終息するよう一人一人が努力することをお誓い申し上げます 親様にもお勇み頂きご守護下さいますようお願い申し上げます

さてコロナウイルスの感染がようやく収まりの兆しが見えてきたと思っておりましたが 残念ながら逆に感染がより拡大してきております 中でも感染経路が判らない人が増えており 人々の心配も増えて来ましたが そんな現状の中 本当は助け合いの輪が広がらなければならない処 逆に差別や犯罪が増えております事は 誠に申し訳ない次第でございます 改めて創立百三十周年に向かう成人の歩みが 「たすけの輪を広げよう」であり 今こそ親に求められている心の角目である事をしっかりと心に治め一人でも多くの人にその親の思いを届けられるよう 今出来る精一杯のたすけ一条の歩みを進めて行く所存でございます

何卒親様には 成つて来る理に親心を思索し 親孝心一筋にたすけ一条に邁進する 皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上にご守護を賜り 世界一列兄弟の理に目覚め たすけの輪が広がって コロナ感染の終息と共に 人々が安心して生活出来る世の中になるようご守護お導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

◎教人資格講習会修了者

立教183年7月11日終講

福山 田中 舞

◎教会長資格検定講習会修了者

立教183年7月17日終講

笠岡 上原 明 勇



今年の1月末に調子が悪くなり近くの病院に行きレントゲンを撮り、先生の診察を受け、レントゲンの写真を見た時、先生が肺の方に黒い影があると云われた後、その影がどうゆう物か分からないから、他の病院でCTを撮れば、その影が分かると言われ、予約をし、CTを撮りに病院に行きました。結果を後日病院に行き話を聞き、肺の病気と言われ、かなり落ち込みました。結果を聞いて、自分なりに色々思索してる時に、コロナウイルスの話題が増え、毎日がコロナウイルスの感染者の話題の中、早くコロナウイルス話題がなくなればと、毎日お願いしてる最中に、思った事がありました。自分も前向きに考えて、来年の記念祭に向け、毎日悔いの無いよう一生懸命、頑張っていきたいと思えます。

立教百八十三年 六月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ			てをどり			地方	役割 区分	講話 (なし)	祭主		扨者			
									上原	上原	大教会	大教会	大教会	大教会				大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会
今川佐智子	上原順子	佐藤香苗	武内清明	虫明立生	岡崎真一	佐藤道孝	中村剛	上原浩	虫明好美	田中ますみ	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	三代温生	谷内伸自	吉岡壽	坐り勤		大教会長様	杉原博之	森本忠善	
笹尾一美	森本富美子	門脇加津	岡崎真一	横山逸郎	虫明立生	高木昭祥	吉岡誠一郎	佐藤真孝	田中つかさ	谷内美知子	武内正美	山野弘実	中島誠治	門脇元教	山田敏教	杉原博之	田中隆之	前半	八月講話 上原明勇	高木昭祥	上原繁次	吉岡壽	
山野なつ	吉岡八恵	三島照美	三代温生	内海史郎	上原繁次	浅野明教	渡邊隆夫	岡田誠	室悦子	横山小智榮	高木孝子	武内清明	三島志涉	上原志郎	杉原善朗	森本忠善	今川昌彦	後半					

立教百八十三年 七月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ			てをどり			地方	役割 区分	講話 (なし)	祭主		扨者			
									吉岡	上原	大教会	大教会	大教会	大教会				大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会
佐藤香苗	今川佐智子	上原順子	今川昌彦	岡崎真一	三島涉	虫明立生	谷内伸自	吉岡誠一郎	田中ますみ	上原愛美	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	大教会長様	三代温生	山野弘実	佐藤道孝	坐り勤		大教会長様	今川昌彦	吉岡誠一郎	
三島照美	谷内美知子	武内正美	内海史郎	武内清明	森本忠善	山野弘実	高木昭祥	浅野明教	横山小智榮	門脇加津	内海安子	横山逸郎	岡崎真一	中村剛	上原繁次	中島誠治	門脇元教	前半	九月講話 谷内伸自	浅野明教	杉原善朗	上原繁道	
田中つかさ	岡崎和美	森本富美子	佐藤真孝	山田敏教	三代温生	渡邊隆夫	赤木素志	杉原善朗	山野なつ	中村初美	岡崎豊子	虫明立生	中村道徳	田中隆之	岡田誠	武内清明	上原志郎	後半					